

令和6年度 学校評価報告

草加市立新栄中学校
(令和7年2月19日作成)

1 学校教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・健康でたくましい生徒 ・正しい行動のできる生徒 <p>目指す学校像：生徒も教師も「居心地のよい明るく活力のある新栄中学校」</p>	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
学力向上と自己肯定感・有用感の育成 ・埼玉県学力学習状況調査の国語・数学・英語における学力の伸び率3以上を目指す。 ・主体的に学ぶ授業を展開し、自己肯定感・自己有用感を10%以上高める。	成果 ○学校関係者評価において「教科指導」高評価 ○教職員自己評価において特に「いじめ対応」高評価 課題 ●学校図書館の活用について、特別活動・総合での活用方法を検討

4 評価表 ※評価基準【A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である】				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 	B	○校務分掌の適正化が進み、個人の負担を削減することができた。 ●学校外での生徒の行動については、地域・保護者にも理解・協力を求め、対応していく。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成 	A	○研修主任を中心に計画的に研修ができた。 ○次年度は、幼保小中連携を中心に研修を行い、各授業での取り組みを深めていく。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 	A	○コロナウイルスやインフルエンザなど感染症が増加した時期があったが、迅速に対応することができた。 ○日々の点検で破損箇所等の確認を行うことができ、事故防止に努めることができた。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 	A	○校内パソコン・校支援システム、クラウドを活用して情報管理を徹底し、漏洩を防止することができた。 ○安全点検の情報を基に、破損状況に対して市の施設課と連携し修繕を進めることができた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 	A	○学校情報の発信は、学校だより・学校メール・ホームページ掲載、また町会の回覧で行うことで、より多くの方に見てもらうことができた。 ○町会祭りやイベント、清掃ボランティアへの参加等地域とのつながりを作ろうと努めることができた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	B	○あいさつ運動や算数教室ボランティアの参加等活动を行うことができた。 ●一貫教育担当者会議の内容についての発信が少なく、教職員の意識を高めることができなかった。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<p>○教科によって若干の偏りはあったが、順調に教育課程を進めることができた。</p> <p>●次年度は授業日数に合わせた年間指導計画を作成し、余剰時間の適正な管理に努めてほしい。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<p>○前年度に引き続き、生徒アンケートから「先生方の授業はわかりやすかったですか」について全学年で肯定的な回答が90%以上であった。</p> <p>○授業改善は継続しつつ、指導と評価の一体化を図るための研修を継続していく。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<p>○昨年に引き続き生徒アンケートから「思いやりの心を大切にしている」に対しての肯定的な回答が全学年とも90%以上であった。</p> <p>○道徳教育推進研修の事前準備により、「考え、議論する道徳」について教職員の意識が高く保たれている。</p>
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 生徒会活動 	A	<p>○学校行事を計画的に進めるとともに、働き方改革の観点も持って行事の改善、検討を図ることができている。</p> <p>○生徒が主体的に活動することで学校の働き方改革にもつなげられるので、今後も継続して学校行事等の内容を検討してほしい。</p>
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	A	<p>○年間指導計画に基づいて、探求的な学びを深めることができていた。</p> <p>○「学ぼうふるさと草加」を活用し、草加の歴史や芸能等を知ることができていた。</p>
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、生徒理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○学校外での生徒指導の案件が多かったが、組織的に指導に当たることができた。学校外での生徒の行動については、家庭・地域の連携を要請していったほしい。</p> <p>○相談室、学習室の活用を促し、不登校生徒への支援を充実させている。</p>
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 組織的なキャリア教育 指導方法の工夫と改善 啓発的経験の充実 進路情報の収集・活用 職場体験活動 	B	<p>○進路指導主事を中心に組織的に進路事務に取り組めた。</p> <p>○昨年度に引き続き1学年において地域の企業を学校に集め、職業体験を行い様々な経験をすることができた。職業体験を経験した後の指導も大切にしてほしい。</p>
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<p>○特別支援学級の生徒が、行事や授業に意欲的に参加できる学校の状況を継続してほしい。</p>
	⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<p>○図書館を利用する生徒が増加したことはよかった。今後も取り組みを継続してほしい。</p> <p>●ICT機器の普及で本を読むことが少なくなっているが、ビブリオバトル等指導法の工夫で本を読む習慣を身につけさせてほしい。</p>
	⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<p>○ネットトラブル講演会の実施、日々の指導の中で、生徒・家庭への理解を深めることができていた。</p> <p>○ICTを積極的に活用する職員が増加し、業務の改善にもつなげられていた。</p>
	⑪人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<p>○生徒が制服を選択できることなど制度の見直しや日々の指導を通して、生徒・教職員の人権感覚の育成につなげることができていた。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	勉強の新栄中	<ul style="list-style-type: none"> 各種学習状況調査 家庭学習の定着 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学力テスト前の自主学習時間は有意義な時間になっていた。 ○教員同士の授業観察を通して、授業力向上につながられている。
	あいさつの新栄中	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動 専門委員会の活動 校内の様子 地域からの評価 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等参観した際に、生徒が自ら積極的にあいさつをすることができていた。 ○小中のあいさつ運動の交流や委員会、部活動によるあいさつ運動等積極的に取り組みを行うことができていた。
	活力の新栄中	<ul style="list-style-type: none"> 活気のある行事の取り組み 活気のある授業風景 活気のある部活動 活気のある掃除の姿 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各教員が、「個別最適な学び」を目指し、授業におけるICTの効果的に活用することができた。 ○各行事において、生徒が主体的に活動して準備を行い、行事を成功させることができた。 ○地域ボランティアへの積極的な参加を促し、自己肯定感・自己有用感の醸成につなげることができた。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○学校関係者評価において、特に「組織運営」及び「情報管理」の項目においての働き方改革について高評価をいただいた。教職員の勤務実態に関する調査や教職員自己評価を基に次年度に向けた改善策が評価された。

○学校運営に関するもので特に力を入れた項目は「地域との連携・開かれた学校」である。ホームページの充実や動画配信に行い、学校での取り組みを積極的に発信することができた。

○教育活動に関するものでは「教科指導」において高い評価を行った。「個別最適な学び」や「協働的な学び」を目指した、ICTの有効な活用を教職員が日々研修し、生徒の主体的・対話的で深い学びにつなげることができている。また、令和5年度より設置した学習室の活用が安定しており、長欠生徒の登校機会を増やし、教職員とのかかわりにもつなげることができている。

課題

- 継続した学力向上の取組が必要である。
- 学校図書館の活用のための具体案が必要である。
- 学校の働き方改革をさらに進める。

6 次年度の改善策

①学力向上について

本校では学力向上の一環として、「基礎学力テスト」を行っており、今年度からは、学力テスト前の朝自習時間も設け、取り組みを強化した。令和7年度はAIドリルを積極的に活用し、生徒の学習意欲向上と学力向上を目指して取り組ませたい。

②学校図書館の活用について

昨年度に比べると、学校図書館を利用する生徒が増加したことはよかったが、ICTの利用が増え、本を読むという機会そのものが少なくなっている。成果と課題にも挙げたように、ビブリオバトルなど、生徒が本に興味を持てるような具体的な取り組み方法を検討し、実施していきたい。

③学校の働き方改革について

今年度、教職員の勤務実態に関する調査や改善できる業務についての意見を基に、令和7年度は、新日課表の実施、行事の精選、授業時数の余剰時間の見直し等を図り、学校の働き方改革をより推進していく。